

ニライみみゆ

2026年(令和8年) 2月号 455号

「稼ぐ力」を次世代へ—

伴走者として経営者の覚悟を支え、
人と企業を未来へつなぐ



<今月号の目次>

- 3面 支部・部会忘年会
- 9面
- 10面 同友会大学
- 11面 経営指針作成講座
- 12面 マリの健康講座・知って得する
- 13面 だっからよ～【株システム沖縄】
- 14面 わが社のポリシー【株ひろし不動産】
- 15面 10-12月期景況調査

同友会ってどういう会?

〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831番地1 沖縄産業支援センター603号

☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208

<http://www.okinawa.doyu.jp>

E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp





21世紀に
輝く
No.247

大浜氏

「稼ぐ力」を次世代へー。

伴走者として経営者の覚悟を支え、人と企業を未来へつなぐ

■ 「稼ぐ」の先にあら
経営者の責任に寄り添う

「稼ぐ力を未来へ繋ぐ。」—経営者の覚悟で賢く逞しい人生を共に創る。この理念には、自身も経営者として歩んできた大浜さんの決意が込められています。

あいエフピーの事業内容は、総合保険代理業、不動産仲介・コンサル、企業年金(401k)導入支援、

さらに宅建士やFP(ファイナンシャルプランナー)の講師業から終活コンサルタントまで多岐にわたります。

特に近年注力している終活・相続コンサルティングは、大浜さんが自身が還暦を迎える人生の「出口戦略」をリアルに実感したことから開始。経営者にとっての終活は、単なる身辺整理ではなく、心血注いで育てた事業をどう着地させ、いかに次世代にバトンを渡すか「最後の大きな仕事」になります。その重圧を理解するパートナーで「経営者の資産と想いを守り、次代へつなぐ『お金のホームドクター』」として、大浜さんは今、多くの経営者から全幅の信頼が寄せられています。

■ 「自立」から始まつた

挑戦の軌跡

大浜さんの「働く」原点は、十歳の小学四年生にまで遡ります。「お小遣いは自分で稼ぐ」と心に

決めて新聞配達から始め、中高時代を通じて自らの力で中型バイクを手に入れた成功体験から、「仕事の本質は自らの手で価値を生み出す喜び」を実感します。高校卒業後、ファーストフード経営会社を皮切りに、アパレル、運送業とサービス業の最前線で十年間徹底的に「顧客満足」を叩き込まれました。

転機は三十歳。結婚を機に不動産業界へ飛び込み、宅地建物取引士を取得。仲介のプロとして研鑽を積む中、「不動産の悩みは常に相続や税金そして保険の問題と直結している」真理に突き当たります。三十八歳の時にソニー生命保険からのオファーを受け、生命保険の本質「愛する人を守る経済的手段」に深く共鳴し、転職を決意。完全歩合制の厳しい世界でしたがFPとしての専門性を磨き、十五年にわたり顧客一人ひとりの人生に深く切り込んできました。

■ 「あい」に込めた想い

独立への道

五十三歳で独立して「あいエフピー」を設立。「あい(1)」には情報社会の象徴であるiPhoneの「1」と「愛」を含み、五十音の「あ」で始まる名は電話帳の最初に来ることから「困った時に真っ先に思い出してもらえる存在でありたい」サービスマン精神が込められています。

決めて新聞配達から始め、中高時代を通じて自らの力で中型バイクを手に入れた成功体験から、「仕事の本質は自らの手で価値を生み出す喜び」を実感します。高校卒業後、ファーストフード経営会社を皮切りに、アパレル、運送業とサービス業の最前線で十年間徹底的に「顧客満足」を叩き込まれました。

転機は三十歳。結婚を機に不動産業界へ飛び込み、宅地建物取引士を取得。仲介のプロとして研鑽を積む中、「不動産の悩みは常に相続や税金そして保険の問題と直結している」真理に突き当たります。三十八歳の時にソニー生命保険からのオファーを受け、生命保険の本質「愛する人を守る経済的手段」に深く共鳴し、転職を決意。完全歩合制の厳しい世界でしたがFPとしての専門性を磨き、十五年にわたり顧客一人ひとりの人生に深く切り込んできました。

■ 同友会での学びが
専門家としての「芯」を作った

沖縄同友会への入会は、独立と同時に二〇一五年。大浜さんはそれまでのビジネス人生を根底から搖さぶる学びに出会いました。「企業の社会性・科学性・人間性」の三つの側面、そして「労使見解」を通じた経営指針の確立。「それまでは『個』の力で様々ことに死でしたが、同友会での学びを通じて、自社の存在意義を客観的に見つめ直すことができました。企業は誰のためにあるのか。地域のために何ができるのか。その問い合わせが、私のサービスを『保険を売る』ことから『経営者の人生を守る』ことへ昇華させてくれました」。

那覇支部東地区の地区長や、広報委員長として月刊機関紙「二ライみらい」の編集に六年間携わった経験も大きく、数多くの会員企業の現場を取材し、経営者の苦悩と歓喜に触れる中で、FPとしての新たな使命にも気づいていきました。

■ つなぐ、広がる、
二十一世紀のリーダーシップ

その後、ファイナンシャル・ジヤパン㈱沖縄支社の立ち上げにも参画。現在は同社沖縄支社のコンサルタントとして、さらにはFPや不動産を扱う後進を育てる講師としても教壇に立ち、「知識の切り売り」ではなく実体験に基づいた「知恵」を伝える語り部に徹しています。

■ つなぐ、広がる、
二十一世紀に輝く

《会社概要》

あいエフピー

代表者 大浜博文 氏
(那覇支部)

住 所 / 那覇市樋川1-16-14 3-A
T E L / 090-3792-9368

事業内容 / エフピー業務、総合保険代理店、不動産仲介コンサルタント業務、企業年金導入支援サービス、終活サポート、その他

「ファイナンシャル・プランナー」の真の役割は点と点をつなぎ線にする。弁護士や税理士の士業(専門家)と経営者をつなぐ。企業と企業をマッチングさせ、新たな付加価値を生む。そして、先代の想いを後継者へつなぐ。「これからも、人と人をつなぎ、企業と企業をつなぐハブでありたい。私が培ってきた全ての知識とネットワークは、共に歩む経営者の皆さんのためにあります」と大浜さんの眼差しは熱い。不透明な時代だからこそ羅針盤となる「お金のホームドクター」として沖縄の経済を支える経営者たちの「安心」を創り出すまで、大浜さんの挑戦は続きます。

(ソムノクエスト㈱・江口直美)



九州・沖縄ブロック青年部会議 in 沖縄

宮城「青全交」へ向けて、熱きプレ報告♪&忘年会



会場全体

十二月十二日、沖縄県立博物館・美術館にて「九州沖縄ブロック青年部会議」が四十六名の参加で開催されました。

一人目は、熊本同友会の司法書士法人小屋松事務所所長 小屋松俊太氏が「自分が変われば会社は変わる」のテーマで報告しました。

県外での修業を経て、父が経営する事務所へ戻った小屋松氏。しかし、待ち受けっていたのは古参社員との衝突や、偉大な父（同友会代表理事も経験）に対する劣等感でした。「代表は誰なのか」とモヤモヤする日々の中、経営指針書を作成し、父の創業の精神「会社のような組織にしたい」という想いに触れ、組織経営への道を歩み始めます。

一方で、青年部会長としても周囲と足並みが揃わず、「辞めたほうがいい」と言われるほどの苦境に立たされました。そんな時、先輩経営者からの「今いろいろあるかもしれないけど、やり切つたほうがいい」という言葉に奮起。「原因自ら二階「居酒屋レストランちゅら」に移して、合同忘年会が開催されました。

性が変化していきました。「自分自身ありのままを認め、他人と比べない」という言葉で締めくくられた報告は、多くの参加者の共感を呼びました。

二人目は、「現場に追われる経営者が

氣付いた、理念経営の力」のテーマで、鹿児島同友会の(株)ブリッジ 社長 亀沢隼人氏が報告しました。

「かっこいい理容師」を目指し、労働環境の良い会社を作ると決意して起業。しかし、コロナ禍の赤字に加え、三名退職・採用ゼロという深刻な人手不足に見舞われます。多忙な現場仕事の中でも「学びを止めてはいけない」と、先輩の助言通り学びの中心に身を置き続けました。

転機となつたのは、プレイングマネージャーとして働く亀沢氏に対し、社員からかけられた「経営指針をもつと伝えてください」という言葉でした。

「背中で見せるのが正義」という思い込みを捨て、理念を言葉で伝え共有する経営へとシフト。その結果、社員から「僕の居場所はここがいい」という声が上がり、社員が新たな仲間を連れてくるまでに組織風土が劇的に改善しました。「理念があつたから十年経つても前を向いた」と語る亀沢氏の姿は、理念経営の真価を物語ついていました。

その後は、会場をN A H A 新都心ホテル二階「居酒屋レストランちゅら」に移して、合同忘年会が開催されました。

（有）友誠 棚原歩美

茶論

初茜ことばは幸をもたらしぬ／藤田直子

▼「初めに言葉ありき」

聖書の一節だが、経営の現場でこそ、この言葉の

重みを感じる。どんな言葉を選ぶかで、組織の空気は変わり、人の行動が変わり、やがて結果が変わること。言葉は単なる道具ではなく、未来を育てる土壤なのだ▼いま世界は、戦争の危機や自己中心的な資本主義の限界に直面している。「戦う」、「頑張る」、「勝つ」。私たちはこうした言葉を無意識に使ってきた。だが、これらの言葉は本当に、持続可能な未来へ導いてくれるだろうか▼現実に直面する中小企業こそ、言葉を見直す先頭に立てるのではないか。「戦う」ではなく「向き合う」。「頑張る」ではなく「大切にする」。「勝つ」ではなく「信頼される」。こうした言葉の再定義が、利他の文化を育み、働く人の幸せと会社の成長を両立させる▼同友会が掲げる民主・民主・連帯の理念も、まさに言葉から始まる。よい経営者とは、人を動かす言葉ではなく、人の心を動かす言葉を選べる人のことだ。月曜日が待ち遠しくなる職場は、一つひとつ言葉から生まれていく▼草青む駿馬放たれ風と和す／生野順也（作古）



北部支部 講演会&忘年会

「学びと共に、 1年の締めくくりを賑やかに」



講師の 前屋 誠 氏

市政権の経済政策」にポイントがあると話されました。

参加者からは「宿泊施設の少なさ」「人手不足による機会損失」など、北部の課題への感想が寄せられました。また、課題に留まらず「今後データをもとづいて戦略を考えたい」「金利などの動向を注視したい」「A-Iを活用

十二月三日（水）、ホテルゆがふいんおきなわにて、北部支部講演会&忘年会が開催されました。

第一部は、講演会（勉強会）と位置づけ、七月のやんばるじんぶん塾でも講話いただいたコザ信用金庫の前屋誠専務理事を講師にお招きし「データを使って最近の経済の話題について考える」をテーマにお話しいただきました。いずれも旬な三つのトピック（①来年の景気②ジャングリアの開業後③A-I）について、わかりやすいグラフ資料を見ながら解説していただきました。

名護市の人団は移住者（社会増）も多く、増加を辿ってきた名護市ですが、自然増減がマイナスになってきており、人口問題も今後の課題となります。前屋専務理事は「春季の賃上げ」「人手不足対策」「高



講演の様子



景品は何か



（株）アイランド・プロジェクト
新井章仁

して生産性を上げたい」といった、現場の改善に直結する反応も多くありました。講演で示されたデータを、取引先企業の課題解決支援や名護市の発展につなげたいという声もあり、データが次の一手を考えるきっかけになった講演会となりました。

第二部の忘年会では、仲宗根修司さ

ん・比嘉毅さんのコンビネーションが光る司会進行のもと、美味しい料理に舌鼓をうち、一年の振り返り、来年への抱負を共有しました。恒例となつたプレゼント抽選bingoでは、豪華な協賛プレゼントの差し入れもあり白熱しました。また、けん玉チャレンジ・ヤレンジ・ジェスチャーチャレンジ・ポン玉運搬チャレンジも大いに盛り上がり、活気ある一年の締めくくりとなりました。

ストローでピン

ポン玉運搬チャレンジ

（株）アイランド・

プロジェクト

新井章仁



南部支部 12月支部例会&忘年会



講師の 照屋 義実 氏

十二月
十一日、ユ

インチホテル南城において支部例会&忘年会が開催され、三十六名が参加しました。

部例会は特別例会と位置づけ報告者に前副知事で現在那覇空港ビルディング代表取締役照屋義実氏をお招きして「NABCOの歴史、GW2050をどう捉えるか」を題して報告いただきました。

那覇空港ビルディング（通称.. NABCO）は一九九二年十二月一日に設立され、現在社員数は六十三名です。業務内容が多岐にわたることから社員数が少ない印象を受けました。

照屋社長は最初社長の要請を固辞しました。社長就任後は経営者として社員一人ひとりと面談を行い、信頼関係を築くと、空港内にあるテナント店にも自ら出向いて挨拶を行うなど長年築い

てきた経営者としての姿勢を發揮します。

その中で長年非正規で定年間近の社員を、照屋社長は今までの功績を鑑み幹部に提案し、正規社員にして定年退職させるという同友会で培ってきた経験を活かし「人生を生かす経営」の実践を聞き参加者全員感動しました。

NABCOは全国の空港で1番の経常利益率があり、羽田や成田にも劣らない会社経営をしていることを経営



記念撮影



乾杯

そこで関連するのが「GW2050構想」になります。前提としてあるのが普天間基地と牧港補給地区の返還になつており、現実的に可能かどうかは

新設は不可欠になっています。

そこに関連するのが「GW2050構想」になります。前提としてあるのが普天間基地と牧港補給地区の返還になつており、現実的に可能かどうかは

そこに関連するのが「GW2050構想」になります。前提としてあるのが普天間基地と牧港補給地区の返還になつており、現実的に可能かどうかは

その後忘年会を開催し、ビール、ノンアルコールビールの利き酒ゲームや提供いただいた景品をくじ引きで楽しみました。二〇二六年も南部支部をよろしくお願ひいたします。

（有）たけ事務 竹 富久）

◆南城市長表敬訪問◆

年の瀬迫る十二月二十五日に先の選挙で市長となつた大城憲幸氏に中小企業家同友会の説明とご挨拶に伺いました。急遽の案内であつたため参加者は三名でしたが、市長と担当部長と課長の三名が対応いただき、南城市内の会員や中小企業小規模企業振興基本条例制定のお願いをしました。短い時間でしたが大変よい意見交換になりました。

（有）たけ事務 竹 富久）



宮古支部 忘年会

女性の視点が経営を強くする



パネリストの皆様（左から）砂川智子氏、砂川千賀子氏、宮國美奈子氏、宮國さやか氏



熱心に聞く参加者



宮古高校の軽音楽部O.P.（オーパス）による演奏

宮古高校の軽音楽部O.P.（オーパス）による演奏

砂川智子氏がコーディネーター。登壇し、熱心に聞く参加者

パネリストの皆様（左から）砂川智子氏、砂川千賀子氏、宮國美奈子氏、宮國さやか氏

パネリスト、グループ討論のグループ長まで、すべて女性が担う例会となりました。女性の視点を経営に活かす重要性を改めて実感するとともに、女性の活躍が目立つた二〇二五年の締めくくりにふさわしい例会となりました。

第一部の経営報告では、サンライズ支部副支部長で㈱いしかわ文明堂代表取締役の石川京美氏が、「同友会でア

十二月十二日、宮古支部は、しゃぶ庵本館にてゲスト参加四名を含む三十九名で十二月例会を開催しました。沖縄同友会女性部会碧の会の協力のもと、報告者、コーディネーター、パネリスト、グループ討論のグループ長まで、すべて女性が担う例会となりました。女性の視点を経営に活かす重要性を改めて実感するとともに、女性の活躍が目立つた二〇二五年の締めくくりにふさわしい例会となりました。

第一部の経営報告では、サンライズ支部副支部長で㈱いしかわ文明堂代表取締役の石川京美氏が、「同友会でア

ップデート～絆をつくっていく～」をテーマに登壇しました。石川氏は、経営に悩んだ時期に碧の会の仲間に支えられ、相談を重ねる中で前向きな判断ができるようになつた経験を紹介。さらには、同友会の全国行事への参加を通じて新たな出会いが生まれ、経営者としての視野が大きく広がつたことを語りました。仲間との学び合いが、経営者自身の成長につながっていることが印象的な報告となりました。

続くパネルディスカッションは、宮古支部副支部長で㈲樂園の果実代表の砂川智子氏がコーディネーター。登壇し、熱心に聞く参加者

との重要性を強調しました。㈱富士自動車専務の宮國美奈子氏は、経営指針作成講座で作成した経営指針を社員と共有したことでの距離が近くなり、日常のコミュニケーションが円滑になつたと述べました。同友会活動を、社員との関係づくりを見直す機会であり、同時に自分自身を見つめ直す大切な時間として捉えていることが紹介されました。また、㈱

ひろしま不動産専務の砂川千賀子氏は、企業変革支援プログラムver2を活用し、自社の経営状況を客観的にチェックする取り組みを実践していることを報告し、現状を見える化することで課題が明確になります、改善につなげている様子が共有されました。

グループ討論では、各グループの進行役も女性が務め、女性ならではの細やかな視点と配慮が議論を深

た宮古支部女性会員であるパネリストからは、同友会の学びを自社経営にどう活かしているか、具体的な実践が語られました。

第二部の忘年会では、友利博明宮古支部長による開会挨拶に続いて、ゲストとして参加いただいた金融機関の皆様よりご挨拶をいただきました。

沖縄振興開発金融公庫宮古支店業務課長久高洸様、琉球銀行宮古支店副支店長岸本順子様、沖縄海邦銀行屋比久千織様からは、地域企業への期待や同友会との連携に向けた温かいメッセージが寄せられ、日頃から築いてきた信頼関係の大切さを改めて実感する機会となりました。

その後、宮古高等学校軽音楽部O.P.（オーパス）による演奏が披露されました。若さと情熱あふれる力強い演奏に、会場は自然と手拍子が起こりました。若さと情熱あふれる力強い演奏に、会場は自然と手拍子が起こりました。この演奏をきっかけに、全国大会出場を控えるO.P.の挑戦を応援しようとして、その場で寄付金が募られ、後日、宮古支部として正式に贈呈式を行いました。地域の若者を支え、未来につなげていく姿勢もまた、同友会活動の大切な役割であることを実感する場面となりました。

学びと交流、そして地域とのつながりが凝縮された忘年会となり、宮古支部にとって二〇二五年の締めくくりにふさわしい時間となりました。

（先島産業株）

友利博明



碧の会 望年会

ゲストが違和感なく一瞬で溶け込む

十二月二日、ダブルツリービューヒルトンにて、碧の会望年会が会員交流委員会企画で開催され、四十七名が参加しました。

会場に足を踏み入れた瞬間から、女性経営者部会ならではのパワーと一体感を強く感じました。ノリの良い司会進行により場の空気は一気に温まり、初めて顔を合わせる方同士でも自然と会話が生まれていきました。

恒例のゲーム企画はさらにバージョンアップされ、終始笑いと歓声に包まれる時間となりました。進行やホールには細やかな配慮が行き届き、参加者全員が無理なく楽しめる構成だったことが印象的です。加えて、景品が全員に行き渡る工夫もなされており、誰一人取り残されることのない一体感のある場がつくられていきました。

特に印象に残ったのは、ゲストとして参加された方々が、違和感を覚える間もなく一瞬で場に溶け込んでいた点です。初参加であっても壁を感じさせない雰囲気は、女性経営者部会が大切にしてきた「場をつくる力」「人を受け入れる力」の表れだと感じました。



碧の会集合

されたものではなく、長い時間をかけて丁寧に練られてきた委員会メンバーの想いが随所に伝わってきました。

この望年会は、単なる年末行事にとどまらず、人と人との距離が自然に縮まっていく時間でした。会場を後にする頃には、あちこちで次の再会を約束する声が聞かれ、この場で生まれた繋がりが、また一年を動かしていくのだと感じさせられました。

（同）フィット 唐沢祐香



挨拶する玉城栄支部長

中部支部忘年会が一〇二五年十二月十日、結婚式場N・B・Cにて開催され、ゲストの海邦銀行含め四十三名が参加しました。

玉城栄支部長の開会あいさつに続

き、新会員三名の紹介および、ゲストとしてご参加いただいた沖縄海邦銀行の皆様の紹介が行われました。與崎文美副代表理事の乾杯のあいさつを合図に、年末ならではの和やかな雰囲気の中、参加者は食事を囲みながら交流の時間を過ごしました。

会場では、久しぶりに顔を合わせた会員同士が近況を語り合い、初めて出会う会員同士が名刺を手に言葉を交わしていました。自然と、会話と笑顔が広がっていく様子が印象に残りました。

後半の名刺抽選会では、参加者全員の名刺を箱に入れ、引き当てた名刺の持ち主を当選者として発表。当選者は



中部支部集合

五秒で景品を選び、三十秒で一言あいさつをするというテンポの良い進行で会が進みました。景品は参加者全員に行き渡り、参加者全員が一言ずつ声を届けることができました。

一年の締めくくりとして、会員同士の距離が自然と縮まる、あたたかな忘年会となりました。（司法書士法人なかいし事務所 新城千夏）

中部支部 忘年会

抽選会全員の当選で、声を届ける



那霸支部 忘年会

4地区一緒にちむどんどん！

十二月十六日、那霸支部忘年会が開催され、ゲストを含め南北東西地区合同で八十二名が参加しました。

那霸支部は日頃四地区に分かれて活動しているため、忘年会は地区間の団結を固め、新たな仲間を歓迎し、楽しく交流・懇親する趣旨でおこなわれました。

赤嶺正巳幹事長の司会で名刺交換のなか、生天目花蓮副支部長兼実行委員長の開会の挨拶、新城恵子（㈱D i A N A）同友会相談役の乾杯で始まりました。

新会員紹介、同友会に入つて良かつた話のあと、いよいよ団体戦に..地区対抗のジェスチャーゲームで勝ったチームからプレゼント get・ルーキーチーム VS ベテランチームクライズ大会・全員でフォーカダンスマスクゲームと大いに盛り上りました。



◀南地区的メンバー



▼ゲームで盛り上がる

今回は会場である SCRATCH（スクラッチ）のワンフロアを貸し切りでおこなわれたため、参加者全員が気兼ねなく交流を楽しむことができ満足度もアップ！、ゲストの入会促進にも繋がりました。

（ソムノクエスト㈱ 江口直美）

支部・会員への愚直な篤い思いを感じました。最後に武島多加雄支部長から感謝と来年も「四地区一緒にちむどんしよう！」エールで閉会し、余韻の残る三時間でした。

（江口直美）

八重山支部では毎年恒例の年末ボウリング大会＆忘年会の時期がやってきました。昨年は年末に出来なく三月に行いましたが、今年は十二月十九日、無事に年末に開催することができました。

（宮平輝）

今回なんと二連覇している山城支部長は残念ながら欠席されることになりました。連覇している王者のいない中、年一回しかやらない人や、数年ぶりとブランクがある人など色々な人に参加していただきました。

ボウリングの後は、場所を変えて「島料理 楽園」にて表彰式＆忘年会。今回の優勝は、今回十年ぐらいぶりにボウリングを行つたというダイビングショットマリンポイントの屋良部さん。なんと一ゲーム目に驚異の百九十九点を出し二ゲーム目も百四十五と合計三百三十五の素晴らしい成績を出していました。さすが現役のダイビングインストラクター運動神経がすばらしかったです。

八重山支部のボウリング大会では一位がいい商品というわけではないです。一位から順番にくじを引いての賞品となります。これならボウリングの上手下手関係なく誰でも賞品をもらえる可能性が出るので恒例となりました。今回も会員もゲストも大盛り上り



八重山支部 年末ボウリング大会＆忘年会

驚異のボウラー現る！

りのボウリング＆忘年会となりました。

（宮平輝）



表彰式・忘年会



集合写真



サンライズ支部 忘年会



講演するけいたりん

十二月十日、総合包装イノベーションスペースにて、サンライズ支部忘年会が開催され、海邦銀行の支店長を含め三十二名が参加しました。会場は、総合包装㈱の新しくできたイノベーションスペースで、真新しい広々とした空間で新鮮でした。

忘年会には、特別企画でお笑い芸人の沖縄よしもと・プロパン7のけいたりん・上原圭泰氏が登場し、演芸を披露。笑いの中に和やかな雰囲気で交流することが出来ました。けいたりん・上原圭泰氏は、家族の自虐的なコントを次々と繰り出し、爆笑をさらつて、そのまま懇親会にも参加しました。

懇親会では、宮城勇支部相談役の乾杯の後、石川京美副支部長の司会で和



集合写真

ビジネス連携部会ゆいまるでは、今年度一回目になる「ゆいピッチ」を十二月十五日にほしざら公民館で十三名の参加で開催しました。今回は趣向を変え「しくじり先生版」とし、シンプロメンテ㈱沖縄営業所の徳田恭紀所長が報告しました。

前職で沖縄都市モノレールの建設に関わる仕事をしていた頃の「しくじり」を中心で話されました。

徳田氏はモノレール古島駅等の建設・管理にかかわったことで仕事ができる係や現在の仕事などについて質問が出され、初めての「しくじり版」ゆいピッチは参加者にも経験の共有ができる内容となりました。

報告後の質疑応答では、子供との関係や現在の仕事などについて質問が出され、初めての「しくじり版」ゆいピッチは参加者にも経験の共有ができる内容となりました。

終了後は、会場を移動して忘年会を開催し、お互いの近況など語り合い、那覇の夜を楽しみました。（事務局）



第30期 同友会大学

第13講 脱炭素を自分事として考える
第14講 懸命にいきる人々～いま、私達がまなぶべきこと～

第13講

講師：(株) oki.com

取締役副社長 小渡晋治氏



小渡晋治氏

は自社の排出量を知ることから脱炭素経営が始まると強調しました。

炭素を吸収する森林(グリーンカーボン)以外に海洋・海洋性植物(デルーカーボン)の面積あたりに吸収量と蓄積

機関が長い事から世界が注目しています。ブルーカーボンの生態家は主に四種、海草・海藻・塩性湿地と干潟・マンダローブ林です。この海洋植物を保全しCO₂をたくさん吸収させるとCO₂の排出枠を売買することができ、「炭素クレジット」「Jブルーカレジット」と呼ばれ取引されます。

十一月二十九日、第十三講は「脱炭素を自分事として考える」をテーマに(株) oki.com 取締役副社長 小渡晋治氏が講師をつとめました。講義の初めに何故、脱炭素が必要なのか、持続可能でなければならぬのか、の問い合わせから始まりました。

小渡氏は、地球規模で自然回復できない状況に陥っている現在、すべての企業に求められる脱炭素経営とは何か。「二〇五〇年カーボンニュートラル」の目標に世界全体が取り組み始めている今、企業がこの問題を取り組まない場合のリスクや影響はあるかなど説明。今後グローバル社会で求められるサプライチェーン(供給の連鎖)全体で排出量削減を求められる社会が来ている、ま



池間哲郎氏

第14講

講師：(一社) アジア支援機構
代表理事 池間哲郎氏

えるつもりが、成長の機会を奪うことになつていなかと置き換えた意見もでました。また、グループ発表では、「今日の講義内容を家族と話したい」や、「帰つたら子供を抱きしめてあげたい」等、家族の大切さを強く感じた受講生の様子が伝わる十四講でした。

(株)共栄環境 下田美智代



グループ発表



第61期 経営指針作成講座

第1講～第5講まで終了

十一月四日の事前学習会からスタートした第六十一期経営指針作成講座は、十社十三名が受講。一月二十日の報告会・修了式に向け約一ヶ月余、自社の現状に向き合い、情勢変化に対応する企業づくりのための指針書（経営理念・十年ビジョン・経営方針・経営計画）作成へとります。



第1講の様子

第1講

十一月十五日に第一講「自社の現状を知る」で（同）グラッド代表の大城章氏が講師をつとめ、受講生全員が自己紹介したあとに企業変革支援プログラムver.2の説明・記入と、中期経営計画・利益計画・財務・管理会計など講義のあと自社の三期分からワークシートを作成しました。



第2講

十一月二十九日は第二講「労使見解・経営理念」で㈱丸忠社長の喜納朝勝氏が講師をつとめました。なぜ経営指針が必要か、同友会の歴史を紐解きながら、講義とワークを交互にすすめました。受講生の皆さんはどう理念を成文化するか、表現が良いか、社員に伝わり共有できるか思案を重ね作成。



喜納 朝勝 氏

同友会では「人間性」「社会性」「科学性」の三つを理念に組み入れる提案をしていますが、すでに社内で理念が確立されている方は深堀し、新たに成文化する方は、自社の存在意義と自身の人生を含め、事業内容を再考する機会となりました。



第4講

十二月十二日は第四講「経営方針・経営戦略」で㈱フォーカス専務執行役員の當銘将也氏がつとめました。自身が義父からの事業承継・創業などを経て現在の状況を事例として説明。また第一講～第三講までの講義を振り返り、自社の課題を明確にしつつ情勢認識の大切さ、外部環境と内部環境、SWOT分析シート等



真栄田 一郎 氏

第3講

十二月六日の第三講は「十年ビジョン、自社分析」で㈲沖島電機社長の真栄田一郎氏が講師をつとめました。第二講までの流れを振り返り、同友会で定義する十年ビジョンを説明し、自身のこれまでの経験など語り、講義をすすめました。ビジョンを持つことの大切さや経営計画、単年度計画、現場で頑張る社員との共有など、時間はかかるがじっくりと時間を掛けていく必要性を語りました。



第5講

十二月十二日は第五講「経営計画・利益計画」として（同）グラッド代表の大城章氏が第一講につづき、講師をつとめました。第一講で自社の数字の現状を把握したことを取り返り、会社に必要な指標と管理会計など改めて確認しました。続けて中期利益計画・中期経営計画をどう立てていくか、十年ビジョンや方針に対しどう具体化していくか、自社に落とし込むためにどうするかなど、受講生はサポート・フォロワーの意見を参考に演習に取り組んでいました。

毎講、講義と演習（シートの作成）、グループ討論（受講生が発表、シートのブラッシュアップ）、修正と取り組みました。朝十時から夕方六時まで、日頃の業務では確保できない時間ですが、受講生、講師、サポート・フォロワーが真剣に自社の現状と未来に向き合う貴重な講座となりました。（事務局）



健康も経営指標です

「数字で見る『経営者のコンディション』」

経営において、数字を見ない判断はありません。売上や利益、キャッシュフローを確認せずに舵を切る経営者はいな

いでしょう。ところが自分自身の健康となると、「忙しいから」「まだ大丈夫」と感覚だけで判断してしまう方が少なくあります。疲労が蓄積すれば集中力は落ち、視野は狭くなり、普段ならしない判断ミスも起ります。これは能力や意欲の問題ではなく、その時のコンディションの問題です。

経営が数字で管理されているように、健康もまた数値で把握することが重要です。血液データは、体の中で何が起きているのかを客観的に示してくれます。自覚症状がなくても、数値にはすでに変化が現れていることも少なくありません。一般的な健康診断や人間ドックは、検査です。一方、分子栄養学の血液検査

は、現在の栄養状態から、体が将来どの方向に向かっているかを読み取る検査です。症状が出る前の段階、いわば赤字に向かう兆しをることができます。男女を問わず、責任ある立場の人ほど無理を重ね、自分のことを後回しにしがちです。特に頑張れる人、我慢強い人ほど、不調を見過ごしやすく、気づいた時には限界を超えているケースも少なくありません。

鍵管理の手間と不安を、まとめて解決 — 株式会社システム沖縄「ちゅら鍵」 —



Q1 株式会社システム沖縄は、どのような事業を行っている会社ですか

A 当社は、情報処理装置および情報処理システムのソフトウェア開発・制作を主な事業としています。社員64名、役員4名が在籍し、社歴の長い社員が多いことも特徴です。ビーチパーティーや忘年会などの社内行事が年4回ほど行われ、バスケットボールやEスポーツなどのサークル活動も行われています。

Q2 「ちゅら鍵」とは、どのような商品・サービスですか

A 「ちゅら鍵」は、タブレットを使い、顔認証によって入退室管理ができるシステムです。工事不要で設置でき、賃貸物件でも後付けが可能です。鍵を持ち歩く必要がなく、顔認証にはAIを活用しており、日々顔を学習する仕組みのため、体型や髪型の変化があっても再登録の手間がほとんどありません。

Q3 開発のきっかけを教えてください

A 社内で企業理念やビジョンを策定した際、将来を見据えて先進技術の研究に取り組もうという方針が示されました。そこで、まず

AI画像認識技術の習得に着手しました。その後、技術の精度が高まってきたことから、自社のサーバールームに入退室管理システムとして導入しました。従来は指紋認証と紙による管理でしたが、コロナ禍を背景に、非接触で利用できる顔認証システムとして「ちゅら鍵」が誕生しました。

Q4 導入すると、従来と比べて何が変わりますか

A 鍵の受け渡しや管理から解放される点が一番大きな変化です。誰がいつ、どの部屋に入退室したかを自動で把握でき、作業時間管理も紙からシステムに集約できます。管理の手間や不安が大幅に軽減されます。

Q5 「ちゅら鍵」ならではの強みは何ですか

A 工事不要で賃貸物件にも対応できる点、AIが毎日顔を学習する高精度な顔認証、そして入口にタブレットを設置することで受付業務としても利用できる点です。来訪者と顔を見ながら会話ができる点も特長です。

Q6 どのような職場におすすめですか

A IT企業やセキュリティ意識の高い職場、テナント入居の会社、従業員の入退社が頻繁な会社にお



会員ホット情報

今おすすめだよ!

すすめです。実際に、顧客から厳格な入退室管理を求められたIT企業では、紙管理から解放され喜ばれています。

【取材を終えて】

常務取締役の島袋清和さんの「人がやめるのは会社に魅力がないからだと思う。福利厚生や条件よりも、会社そのものの魅力が大事。そして人は人で辞めると思っている。」という言葉が印象に残りました。技術だけでなく、人を大切にする姿勢を強く感じました。

また、ちゅら鍵には、公式アンバサダー「しーちゃん」がいます。社内公募でイメージを募り、同友会会員である株式会社カリタスに制作を依頼したそうです。さらに、ホームページは同じく同友会会員の株式会社小立が手がけています。ぜひ一度、ちゅら鍵のホームページものぞいてみてください。

(司法書士法人なかいし事務所
新城千夏)

《会社概要》

株式会社システム沖縄

取締役 島袋 清和 氏

〈中部支部〉



所在地／那覇市泊3-15-5

TEL／098-941-5900

事業内容／IT・通信、ソフトウェア開発

2025年10-12月期景況調査の結果について(見解)

業況判断は緩やかに改善、製造業と建設業が大きく改善

～人材不足対策、技術者確保への対応が急務～

2026年1月16日
(一社)沖縄県中小企業家同友会

(一社)沖縄県中小企業家同友会は、会員企業から抽出した1039社を対象に12月1日(月)から12月19日(金)の期間、「2025年10-12月期景況についてのアンケート調査を実施しました。その結果について見解を発表します。(本文中、特に断りのない限り前年同期比です)

回答企業数

(1) 回答企業
131社 回答率 12.6%

(2) 業種別 () は実数

サービス 36.6% (48)
流通・商業 22.1% (29)
建設業 22.9% (30)
製造業 8.4% (11)
情報報 9.9% (13)

(3) 規模別 従業員数

<正従業員> 平均 26名
<臨時従業員> 平均 13名

1. 業況判断 DI 全業種では3期ぶりに増加(増減+6.7)。業種別では、サービス業では大幅な落込み(増減-21.7)、流通・商業は若干伸びが鈍る(増減-3.3)。建設業(増減+36.9)、製造業(増減+62.6)と大幅に改善。情報も(増減+9.8)と増加している。

2. 売上高 DI 全業種では堅調に増加を維持(14.5)。業種別では、サービス、流通・商業で堅調に増加。建設業および製造ではプラス超に改善。情報は±0。

3. 経常利益 DI 全業種では鈍化しているものの改善を維持している(15.7⇒7.7=増減-8.0)。業種別では、サービス業(増減-7.3)および流通・商業(増減-1.3)、そして情報(増減-8.0)は若干の鈍化を見せているものの堅調な改善を示す。また、建設業(増減+16.7)は改善。とくに製造業は(△17.7⇒36.4=増減+54.1)と大幅に改善。

4. 資金繰り DI 前全業種では前期(7~9月期)から増加してプラス超(△0.5⇒2.2=増減+2.7)。

業種別では、サービス業は悪化が続いている(△5.4⇒△18.8=増減-13.4)。流通・商業は鈍化(増減-9.3)。建設業は大幅に改善(増減+33.3)。製造業は改善するもマイナス超(△18.2)。情報は改善が継続(増減+3.6)。

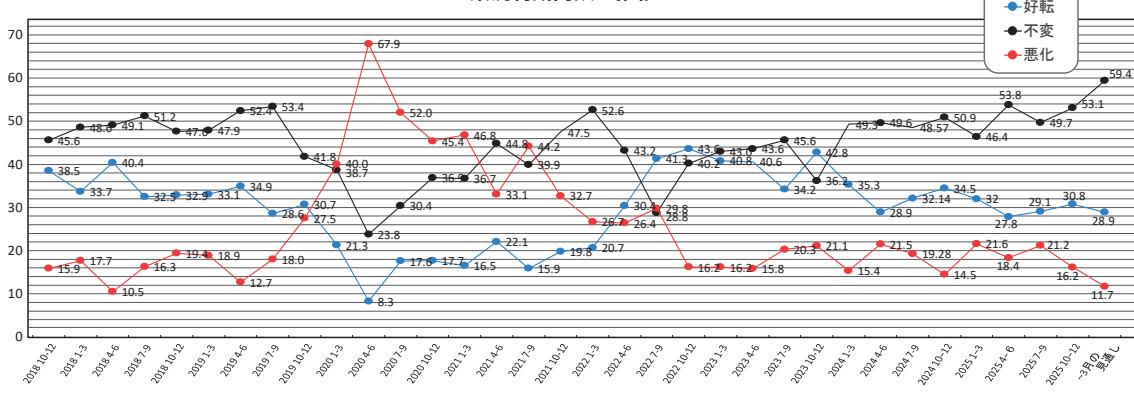
5. 経営上の問題 全業種では、上位2位は入れ替えるものの「仕入れ単価の上昇」「人件費の増加」「従業員不足」が問題点として挙がる。また、「管理費等間接費の増加」「熟練技術者の確保難」「同業者相互の価格競争の激化」がより上位に挙がる。

6. 先行き 翌期(1~3月期)見通しについて、全業種では、改善傾向の維持が見通されている(増減+17.2)。

業種別では、サービス業はマイナスからの改善が見込まれ(増減+2.6)、流通・商業(増減+7.7)及び建設業(増減-3.3)は堅調な伸びの維持が見込まれ、情報(増減+15.4)では大幅な伸びが見通される。

	業況判断DI			売上高 DI			経常利益 DI			資金繰り DI		
	2025 7~9 月期	2025 10~12 月期DI	増減									
全業種	7.9	14.6	+ 6.7	11.3	14.5	+ 3.2	6.8	11.6	+ 4.8	△0.5	2.5	+ 2.7
サービス業	17.5	△4.2	- 21.7	21.4	18.7	- 2.7	11.5	4.2	- 7.3	△ 5.4	△ 18.8	- 13.4
流通・商業	17.1	13.8	- 3.3	11.6	17.2	+ 5.6	12.0	10.7	- 1.3	16.2	16.9	- 9.3
建設業	3.1	40.0	+ 36.9	△3.1	10.0	+ 13.1	0.0	16.7	+ 16.7	0.0	33.3	+ 33.3
製造業	△35.3	27.3	+ 62.6	△5.9	18.2	+ 24.1	△17.7	36.4	+ 54.1	△41.1	18.2	+ 22.9
情報報	5.6	15.4	+ 9.8	21.1	0.0	- 21.1	15.7	7.7	- 8.0	11.8	15.4	+ 3.6

業況判断内訳の推移





高压保守？

正直、
よくわからない。

正直、
どこでもいい。

正直、
安心ならいい。

正直、
マエダ電気工事の
マエキューが
いい。

プレゼントまで
もらえるし。

面倒な高压保守

書類・点検・対応・社内電気主任も

ぜ~んぶ丸投げ!

お得な料金プラン

料金はご使用の設備容量をご確認の上、下記価格表に準じます。

平日をしっかり対応！

エコノミープラン

月額 **¥12,000** /月

(設備容量: 140KVA~180KVA の場合)

- 平日点検 常時監視装置
- 時間内年次点検 (平日8:00~17:00)
- 年次点検時漏電回路調査
- 機器台帳と機器更新計画書
- 24時間緊急体制

土曜の屋でも対応！

スタンダードプラン

月額 **¥16,000** /月

(設備容量: 140KVA~180KVA の場合)

- 平日点検 常時監視装置
 - 時間内年次点検 (土曜日昼間OK)
 - 年次点検時漏電回路調査
 - 機器台帳と機器更新計画書
 - 24時間緊急体制
- *PCB検査1検体1万(変圧器のみ)
*QBまわり草刈り

いつでも迅速対応！

プレミアムプラン

月額 **¥18,000** /月

(設備容量: 140KVA~180KVA の場合)

- 平日点検 常時監視装置
 - 時間内年次点検 (土日祝日夜間OK)
 - 年次点検時漏電回路調査
 - 機器台帳と機器更新計画書
 - 24時間緊急体制
 - 緊急対応月1回無料
- *緊急対応資材費は別途
*業務用消火器更新(10年に1度)
*非常用発電機オイル交換(5年に1回)冷却水補給
*PASグリス塗布

こんにちは！130社以上の
保守顧客を持つマエダ電気工事
高压保守部門マエキューです。

今なら、

他社からの切り替え
または新規ご契約で

会社の非常時に役立つ！

Panasonic

でかランタンを
プレゼント！



*住所や駐車場の有無、年次点検実施日等で金額に変動あります。*発電機の有無で金額に変動あります。詳しくは担当者がご説明いたします。



沖縄の高压受電設備専門

まずはお気軽にお問い合わせください

098-853-9091

[受付時間] 平日 8:00~17:30

マエダ電気工事株式会社 | 〒900-0025 沖縄県那覇市壺川1丁目16-11

